

パネルディスカッション これからの日本語教育における 人材像

養成の現場と活躍の現場の専門性の
両面から考える

2017.08.26



文化審議会国語分科会日本語教育小委員会 での議論の整理

1. 日本語教育人材の養成・研修に関する教育内容の現状と課題の整理
2. 日本語教育人材の整理と養成・研修に関する議論
3. 日本語教育人材に求められる資質・能力に関する議論
4. 日本語教育人材に必要とされる教育内容に関する議論

委員会とワーキンググループ

文化審議会国語分科会
日本語教育小委員会

第80回 5月11日(木)

第81回 7月28日(金)

第82回 9月25日(月)

外国人児童生徒を対象とする
日本語教育人材の
養成・研修に関する
ワーキンググループ

活動分野別の
日本語教育人材の
養成・研修に関する
ワーキンググループ

第1回 6月12日(月)

第2回 7月14日(金)

第3回 8月8日(火)

第4回 9月8日(金)

日本語教育人材の養成・研修の検討範囲のイメージ

①外国人児童生徒WG

②その他活動分野別WG

国内								海外
活動分野 日本語教育人材	生活者としての外国人							初等中等高等教育及び成人に対する日本語教育、日系人等に対する継承語教育
	生活者としての外国人	留学生 ※日本語教育機関	児童生徒等	就労準備・研修生	技能実習生	難民等	高度人材...	
日本語指導者【中堅】	(1)(2)							
日本語指導者【初任】 (活動分野別)	(1)(2)(3)	(1)(2)(3)	(1)(2)(3) ※日本語指導支援員	(1)(2)(3)	(1)(2)(3)	(1)(2)(3)	(1)(2)(3)	(1)(2)(3)
日本語指導者【養成段階】	合同WGによる検討 (1)資質・能力 (2)教育内容 (3)モデルカリキュラム(案)							
日本語教育コーディネーター	(1)(2)(3) ※地域日本語教育コーディネーター	(1)(2)(3) ※主任教員						(1)(2)(3)
日本語指導補助者	(1)(2)							

日本語教育人材の整理と養成・研修に関する 議論

	段階	主な役割・能力	対象	養成・研修の あり方
指導者 日本語	中堅段階			
	初任段階(活動分野別)			
	養成段階			

		主な役割・能力	対象	養成・研修の あり方
日本語教育 コーディネーター	主任教員(留学生)			
	地域日本語教育 コーディネーター			
日本語学習支援者				

日本語教育人材に求められる資質・能力に関する議論(1)

日本語教育人材に求められる基本的な資質・能力

- 日本語を正確に理解し的確に運用できる能力を持っていること
- コミュニケーションを通じてコミュニケーションを学ぶという日本語教育の特性を理解していること

日本語教育人材に求められる資質・能力に関する議論(2)

専門人材としての日本語指導者に求められる資質・能力

1. 言語教育者として必要とされる学習者に対する実践的なコミュニケーション能力を有していること
2. 広く言語や文化に対して深い関心と鋭い感覚を有していること
3. 多様な言語・文化社会的背景を持つ学習者に対する日本語教育活動を行う教育者として、文化的多様性を尊重する態度を有するとともに、豊かな国際的感覚と人間性を備えていること
4. 自らの職業の専門性とその社会的意義についての自覚と情熱を有し、常に学び続ける態度を有していること
5. 日本語教育を通じた人間の成長と発達に対する深い理解と関心を有していること

日本語教育人材に求められる資質・能力に関する議論(3)

		知識	技能	態度
日本語指導者 中堅				
日本語 指導者 初任	生活者としての外国人			
	留学生 日本語教育機関			
	児童生徒等			
日本語指導者 養成段階				

上記の育成に必要な「カリキュラムモデル」の検討も実施

みなさんにお願い

- 小委員会の議論は現在進行中ですので内容が逐次アップデートされます、ぜひ定期的な情報収集を
- 小委員会、ワーキンググループは事前申し込みで傍聴可能です
- 年内にパブリックコメントを募集する予定ですのでご意見をお願いします

登壇者紹介

- 遠藤由美子(アークアカデミー)
- 金田智子(学習院大学)

主として
養成の
立場から

- 井上靖夫(JET日本語学校)
- 内山夕輝(浜松国際交流協会)

主として
実践現場の
立場から

- 進行: 神吉宇一
(武蔵野大学・文化審議会国語分科会日本語教育小委員会)